

日吉台地下壕保存の会 会報

第6号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

〒223

横浜市港北区下田町3-15-27

TEL 044-62-1282 (寺田貞治方)



自衛隊市ヶ谷駐屯地の旧陸軍大本営の地下壕跡
天井に今でも作動する通風孔の換気扇が見える

目次

○2年目の活動に向けて	1
○第2回総会報告	2
○1989年度活動報告	2
○1989年度決算報告	3
○会則の1部改正について	3
○1990年度運営委員 会計監査	3
○1990年度活動方針	4
○1990年度予算	4
○1990年度会費納入 に就いてのお願い	4
○自衛隊市ヶ谷駐屯地の 旧陸軍大本営の地下壕跡 見学記	5
○編集後記	6

二年目の活動に 向けて

会長 永戸多喜雄

日吉台地下壕保存の会は、過去一年間の様々な活動の成果を踏まえて、いよいよ二年目にさしかかろうとしている。すでにかんがりの情報を集めた聴き取り調査は、これからも引続き行われ欠落した部分が埋められねばならないし、地下壕自体に就いても、物理的な障害のため、未だ現状確認が済んでいない新幹線道床と立体的に交差している部分にも、万端の準備を整えて保存の会による調査のメスが加えられなければならない。資料蒐集の問題もある。数えあげれば、保存の会がやるべき仕事は山ほどあるのだが、私達がいとも忘れてはならないのは、私たちの目標が、無期的な地下構造物の調査、解明に限定されないということである。

一年前に、保存の会が発足したとき、私たちが高く掲げた目標に接近するために、より多くの会員の積極的な参加を得て、今年もまた活発な活動が展開されることをねがってやまない。

第二回総会

報告

日時 四月七日午後三時より
場所 慶應義塾藤山記念館

大会議室

受付 午後二時五〇分より
映画上映 午後三時より
戦時中の映画
「戦ふ少国民」

松崎△△

次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、議長選出
- 四、議事

- ① 一九八九年度活動報告
- ② 一九八九年度会計報告
- ③ 一九八九年度会計監査報告

④ 会則の一部改正についての提案と、その説明

⑤ 一九八九年度運営委員・会計監査の選出と承認

⑥ 新会長挨拶

⑦ 一九九〇年度活動方針案説明

⑧ 一九九〇年度予算案説明

五、議長解任

六、閉会の辞

議案の全てが一部修正されて承認されました。

一九八九年度

活動動向報告

会結成から、早くも1年が過ぎました。振り返ってみますと、活動報告書にもありませんように、私たちは実に様々な活動をして参りました。このような活動が出来たのは、会員の方々のご支援とご協力があったからだと思います。本当に有難うございました。

会員の数も次第に増え、三月三十一日現在で、会員二四七名・団体会員一組、賛助会員四名となりました。会報も順調に発行され、第五号まで出すことが出来ました。運営委員会は二回、幹事会は八回それぞれ開催され、会の活動の推進力として、大きな力を発揮しました。保存会の具体的な活動としては、地下壕見学会七回（会主催二回）、講演会一回、ゼミナール一回、ヒヤリング一回、学習会一回、

行いました。

保存会の活動は、この一年間たびたびマスコミにも取り上げられ、かなり知られるようになった。神奈川・毎日・産経・東京・松代などの新聞に延べ六回掲載され、NHK、日本TV、TV神奈川などのテレビで延べ四回放映され、またラジオでも三、四回放送されました。全国各地の同じ様な保存の会にも知られるようになり、様々な情報の交換もできるようになりました。

調査活動は、随時、保存の会の有志で進めてきました。その結果、当時の様子が少しづつ明らかになってきました。しかし、朝鮮人労働者の当時の様子は、まだはつきりしておりませんので、この方面の調査が必要です。また、文献による調査が余り進んでいませんので、この方面にも力を入れる必要があります。更に、神奈川県や千葉県には、たくさん地下壕がありますが、これも本格的に調べたという話を聞いておりませんので、

至急に関連の調査活動としてやる必要があるのではないかと思います。

最後に、会の最も重要な、会の目的である地下壕の保存と平和記念館の建設に向けての動きについて述べたいと思います。会報でご存じのように、港北区役所の区政推進課では「日吉台地下壕利用計画策定調査」を一九八九年度の重点事業の一つとしてやっています。推進母体は、保存の会、コンサルタント、区役所（調整係、区民相談室、建築課）で、プロジェクトチームを組んで活動を進めています。事務局は区政推進課です。今までに、会合は三回あり、保存に向けていろいろと話し合ったり、保存会の調査資料を渡したり、地元の方や地下壕で仕事をしていた旧海軍の方から話を聞いたりしました。また、区の職員が、すでに保存に踏み切り公開している松代や、保存に向けて調査をしている西宮市に視察に行きました。プロジェクトチームでは、八月までに調査資料をま

とめて、来年度の予算に間に合うように、区から市に「日吉台地下壕保存の基本構想報告書」を提出する予定であるとのこと。したがって、保存会の活動も今年から来年度にかけて正念場を迎えるかと思えますので、今後ともこれまで以上にご支援、ご協力をお願い致します。

一九八九年度 決算算報生口

収入の部

会費

五〇〇円*一口*

一〇人*五〇〇〇円

一〇〇〇円*一口*

二二人*二九〇〇〇円

一〇〇〇円*二口*

四人*八〇〇〇円

一〇〇〇円*三口*

三人*九〇〇〇円

一〇〇〇円*五口*

一人*五〇〇〇円

一〇〇〇円*六口*

一人*六〇〇〇円

一〇〇〇円*一口*

一人*一〇〇〇円

一人*一〇〇〇円

二〇〇〇円*五口*

一団体*一〇〇〇〇円

カンパ

四七四六〇円

(内訳)

(一八〇〇円*一口)

(二六六〇円*一口)

(五〇〇〇円*二口)

(二〇〇〇円*二口)

(二二〇〇〇円*一口)

合計 三三〇四六〇円

支出の部

会議費 一六〇六九円

事務費 一〇〇二五円

印刷費 二〇六三五円

郵送費 六八九四九円

資料費 一四一九二円

謝礼 一四二八七円

合計 一一四一五七円

差引残高

計 一八六三〇三円

以上の通り報告します。

一九九〇年四月二日

事務局長 寺田貞治

この報告により収支を監査したところ適正に処理されていることを認めます。

会計監査 森山高行

会計監査 天野喬子

△会則の一部改正について

一九九〇年度

運営委員会

△会計監査本直

旧来の会則

第一〇条(経費) この会の経費は、会費とその他の収入によってまかなう。会費は、年間個人一〇〇〇円、高校生以下五〇〇円、団体二〇〇〇円とする。

第一一条(付則) この会則は、一九八九年四月八日より施行する。

改正後の会則

第一〇条(経費) この会の経費は、会費とその他の収入によってまかなう。会費は、年間個人一〇〇〇円、高校生以下五〇〇円、団体二〇〇〇円とする。

第一一条(付則) この会則は、一九八九年四月八日より施行する。

幹事

会長

副会長

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

幹事

一九九〇年度
活動方針

今年度も、昨年度に引続き、戦争と平和を考える原点として、地下壕の保存と平和記念資料館の建設に向けて、さらに活発な運動を展開したいと考えています。

戦争体験が風化していく中で、最近、地下壕を保存しようとする動きが全国的に盛り上がってきています。私たちの運動も、全国の仲間達と連携しながら進めていきたいと思っています。幸いにして、各地の地下壕の保存会や研究家などのネットワークが出来つつあり、今年の夏には交流会を持つという計画も聞いております。

また、中野区議会では、去る三月二六日に「平和条例」を可決しました。この条例を見ると、いま私たちがやっている運動が生きてくるような心強さを感じます。非核平和都市宣言をした自治体は今年二月現在で一四五〇を超え、世界的な緊張緩和の中で、ま

すます平和への願いが高まることでしょう。

私たちの運動も、会発足以来、新聞・テレビ・ラジオなどマスコミによってかなり知られるようになり、また調査・ヒヤリング・学習会などを通して、いろいろなことが次第に明らかになってきました。が、今年度は更にこれらの運動を発展させ、大きな成果をえたいと思います。

具体的な活動としては、
一、聞き取り調査、文献調査を更に積極的に行い、当時の歴史を明らかにする。

二、見学会、講演会、ヒヤリング、シンポジウムなどを開催し、理解を深める。

三、全国の関係団体・研究家などと連携し交流を深め、情報などの交換をする。

四、区や市に働きかけ、あるいは協力して、特に区のプロジェクトチームを通して、地下壕の保存と平和記念資料館の建設の具体化に向けて運動する。

五、会報の発行、出来ればPR用のパンフレットの発行な

ども行う。

役所の動きとしては、区で八月までにプロジェクトチームがまとめた資料を元にして、市に来年年度の事業計画として、地下壕の保存について何等かの提案を市にするのではないかと思います。私たちも、これを見守り、目的の実現まで粘り強く頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

一九九〇年度
予算

収入の部

会費

一〇〇〇円・一口*

二四七人＝二四七〇〇円
繰越金 一八六三〇三円

合計 四三三三〇三円

支出の部

会議費

二〇〇〇円

事務費

二〇〇〇円

印刷費

三〇〇〇円

郵送費

一〇〇〇〇円

資料費 一〇〇〇〇円
謝礼 五〇〇〇円
予備費 一一三三〇三円
合計 四三三三〇三円

一九九〇年度
△会費納入に
就いての
お願い

一九九〇年度の会費を、
まだ、お納めになっていない方は、なるべく早くお納め下さいますようお願い申し上げます。

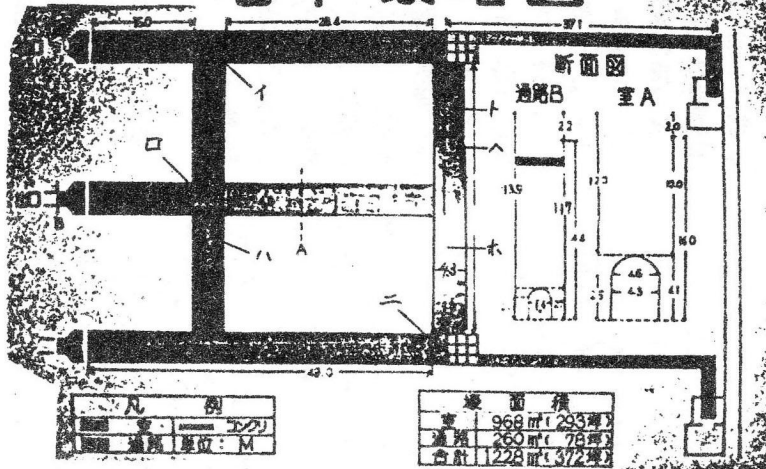
会費は、個人一口一〇〇〇円、高校生以下一口五〇〇円、団体一口二〇〇〇円で、それぞれ一口以上です。

直接事務局にお届け頂いても、郵便振込でも結構です。郵便振込番号・名称は、次の通りです。

横浜2162997

日吉台地下壕保存の会

第2図 地下壕略図



ある(第2図)。
第2図のイ、ロの位置に直径八〇センチはあろうかと思われる通風孔があり、地上の灯楼に抜けているのである。ロの位置にある通風孔の換気扇は今でも作動するのは驚いた。ハの位置には陸軍大臣執務室があったという。二の

位置からも大講堂に出る通路がある。二の位置の地下壕の天井のコンクリートの割れ目から滲み出た水滴が、間を置いてポタリポタリと落ち、天井には鐘乳石を床には石筍を造っていた。南側の地下壕の水、ハ、トの位置には、それぞれ食堂、炊事場、風呂場な

どがあったという。大本営の地下壕だけあって日吉の地下壕よりもはるかに頑丈に立派に出来ていた。天井のコンクリートの厚さは約四メートルもあるという。延べ面積は一二二八平方メートルである。この地下壕は、昭和一六年から一七七年にかけて約一年半で造られ、工法は露天掘り式であった。地下壕の見学を終えて元の出入り口から地上に出た。出入口は北の方にも三箇所あり、靖国通りに出るようだ。この地下壕も一九九五年の防衛庁の移転にともなって取り壊される予定であるという。

地下壕を出て、橋中佐の長靴を息子がいって喜んでいる姿を描いた「將軍の孫の像」(北村西望作)を見たり、一等三角点を見たりした。しばらく休憩所で休んだ後、頃合を見て自衛隊の昼食をいただいた。味はまあまあであったが、御飯は好きだけ頂けることが出来た。我々が市ヶ谷の駐屯地を出たのは、一二時三〇分ごろであった。

編集後記

◆慌ただしく総会の準備をして、総会を迎えた。しかし、横浜市長選挙・市議の補欠選挙の投票日の前日で、総会の出席率は悪かった。

◆年度初めで忙しかったせいもあるが、総会が終わってほっとしている間に二カ月が経ってしまった。

◆総会の報告を知らせなくてはと思い、ゴールデンウィークを返上して、会報第6号の編集に取り掛かった次第である。

◆総会の資料を読み直してみると、改めてその誤植の多さに呆れるばかり。我ながら嫌になる。

◆第6号は間違いのないようにと、ワープロを打ちながら何度も見直す。会員の皆さんのことを考えながら・・・

◆今後とも宜しく願います。